

イトーヨーカドー上田店

2013年8月2日

イトーヨーカドーとして長野県内初の取り組み ペットボトルと古紙の回収機を同時導入

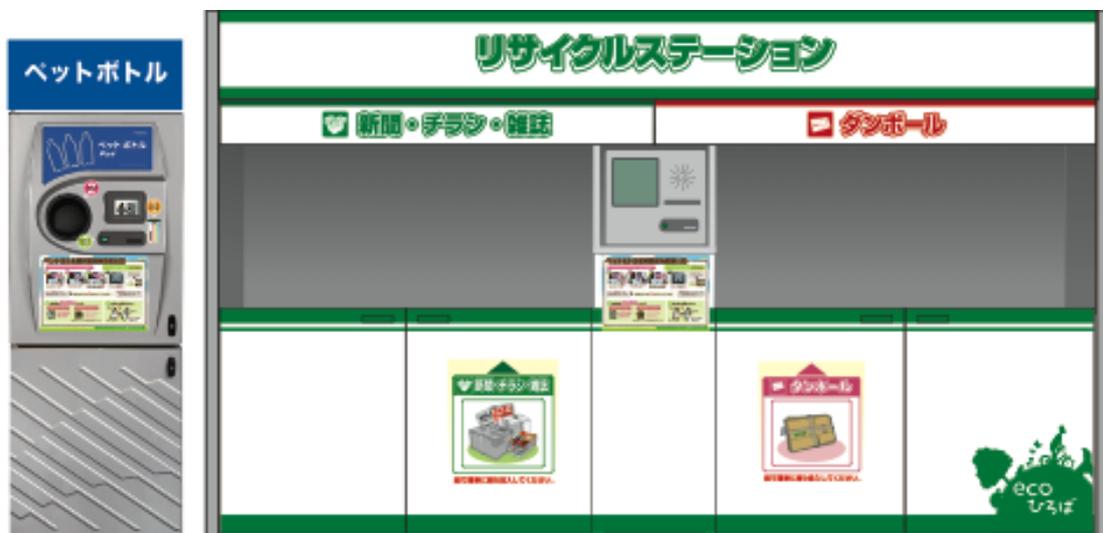
8/7、リサイクルでポイントが貯まる『リサイクルステーション』の運用開始

株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長<COO>亀井 淳、以下 当社）は、2013年8月7日（水）、「アリオ上田内 イトーヨーカドー上田店」（以下 イトーヨーカドー上田店、長野県上田市天神 3-5-1）において、「ペットボトル自動回収機」と「古紙回収機」を併設した『リサイクルステーション』を導入いたします。

大手小売業として長野県上田市内にこうした『リサイクルステーション』を設置するのは当社が初めてとなります。また、「ペットボトル自動回収機」については、首都圏・中部エリアを中心とするイトーヨーカドー約100店舗に導入しておりますが、長野県内では初めての導入となります。新聞・雑誌・段ボール等を入れる「古紙回収機」の導入は長野県初、全国では3店舗目、アリオとしては初となります。

当社は、今後もこうした環境に配慮した取り組みを積極的に推進してまいります。

【イトーヨーカドー上田店に設置する『リサイクルステーション』設置イメージ】



☆大手小売業として初の取り組み ～「ペットボトル自動回収機」～

“ペットボトル to ペットボトル”の循環型リサイクルについて

株式会社セブン&アイ・ホールディングスが、トムラ・ジャパン株式会社（東京都大田区、代表取締役社長：ソニー ソーダバーグ）との連携により、2012年4月から運用開始した取り組みです。自動回収機を入口としたペットボトルの店頭回収・リサイクルシステムとして、グループのイトーヨーカドー、ヨークマート、ヨークベニマルの各店舗に導入中（グループ計 約 220 店舗、2013年7月末現在）。リサイクル・物流パートナーのみならず、飲料・容器メーカーとも連動した“ペットボトル to ペットボトル”の循環型リサイクルは、大手小売業として初の取り組みとなります。

～ イトヨーカドー上田店に導入する『リサイクルステーション』の概要 ～

1. 導入日 : 2013年8月7日(水)
2. 導入店舗 : イトヨーカドー上田店(アリオ上田内)
3. 内容 : 「ペットボトル自動回収機」と「古紙回収機」を併設した『リサイクルステーション』を設置
4. 特徴等 :

＜ペットボトル自動回収機＞

- 「ペットボトル自動回収機」に投入されたペットボトルは、機械の中で自動的に選別・破砕され、体積が約8分の1に
- この回収資源を効率よく輸送、国内リサイクルルートを通じ、ペットボトル容器等に再生
- ペットボトルは自動回収機で減容されるため、店舗からリサイクル工場までの運搬コストが大幅に削減、CO₂排出量削減にも効果
- 回収したキャップも国内でリサイクルを実施

＜古紙回収機＞

- 「古紙回収機」に投入された古紙は、国内ルートを通じて再生紙等へリサイクル

＜リサイクルポイント＞

- ペットボトルあるいは古紙を回収機に投入すると、リサイクルポイントが貯まり、電子マネーnanacoのポイントに交換可能
- ペットボトル1本につき2リサイクルポイントが付与、また、古紙1kgにつき10リサイクルポイントが付与。500リサイクルポイントを50nanacoポイントと交換可能

イトヨーカドー上田店では、8月7日から18日までの12日間、オープニングキャンペーンとしてリサイクルポイント×2倍を実施いたします。

【ペットボトル・古紙の循環型リサイクルのイメージ】



以上